

地理A

使用教科書	単位数	学年・学級・学科・選択名等
地理A（東京書籍） 標準高等地図－地図でよむ現代社会－（帝国書院）	2	1年1、2組

1 学習の到達目標

学習の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・現代世界の地理的な諸課題を地域性や歴史的背景、日常生活との関連をふまえて考え、現代世界の地理的認識を身につける。 ・地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を身につける。
----------------	---

2 学習計画

学期	月	単元の学習内容	時数	単元のねらい	評価の観点				評価方法	
					①	②	③	④		
前期	4	オリエンテーション 第1編 現代世界の特徴と動向 第1章 地球儀や地図からとらえる世界 ①地球儀や地図からとらえる世界 ②日本の位置と領域	3	<ul style="list-style-type: none"> ・水陸分布、大陸間の方位、距離、位置関係、時差や季節の生じるメカニズムについて考えることで、球体としての地球の姿を把握する。 ・世界地図は球体を平面にしているゆえに歪みが生じ、そこからさまざまな投影法が開発されてきたこと、地図は用途に応じて適切な図法を用いることを理解する。 ・国家の三要素と国境の概念、日本の地理的位置と領域、日本の抱える領土問題を扱うことで、世界的な見地から日本という国を考える。 	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・授業導入時プリント ・授業プリント ・授業内容確認プリント 	
		第2章 結びつく現代世界 ①世界の国家群 ②貿易で結びつく世界 ③交通・通信の発達と世界の一体化 ④観光を軸とした国際的な人々の移動	4	<ul style="list-style-type: none"> ・第二次世界大戦後～東西冷戦期に結成された様々な国家群とその結成の背景について、当時の国際情勢との関わりから考える。 ・冷戦終結以降に結成された様々な国家群の特徴について考えることで、国家間が互いに結びつき、協力していくことの大切さを理解する。 ・経済のグローバル化に伴う日本の産業構造の変化や多国籍企業の活発な事業展開について考える。 ・交通・通信の発達を切り口に、人や情報の国際移動を通じて、一体化する現代世界の動向と課題について考える。 ・観光を軸に現代世界における人々の国際移動の特徴とその社会的背景について考える。 	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・授業導入時プリント ・授業プリント ・授業内容確認プリント 	
	5	6	第2編 世界の生活・文化の多様性 第1章 世界的視野から見た自然環境と文化 ①生活の舞台としての地形 ②生活の舞台としての気候 ③生活の様式としての文化	9	<ul style="list-style-type: none"> ・変動帯と安定大陸における諸地形の特徴について考える。 ・河川のつくる諸地形の特徴について考える。 ・大気の大循環のメカニズムを理解することで、地域による気候の違いとその要因について考える。 ・気候と植生・土壌との関係について考える。 ・世界の各気候帯（熱帯、乾燥帯、温帯、冷帯・寒帯、高山気候）とそこに居住する人々の生活の特徴について理解するとともに、気候環境と人々の生活との関係について考える。 ・文化についての定義を踏まえた上で、文化と社会・民族との関係について考える。 ・言語と宗教を軸に、現代世界における文化の多様性について理解する。 	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・授業導入時プリント ・授業プリント ・授業内容確認プリント
			前期中間考査				○	○	○	○
	6	7	第2章 諸地域の生活・文化と環境 ①東アジアの生活・文化と環境 ②東南アジアの生活・文化と環境 ③南アジアの生活・文化と環境 ④西アジア・北アフリカの生活・文化と環境 ⑤アフリカ中・南部の生活・文化と環境		<ul style="list-style-type: none"> ・東アジアの生活・文化の特徴について、自然環境と関連づけて考える。 ・中国、韓国の現在の動向、抱えている課題について、多面的・多角的に考える。 ・東南アジアの生活・文化の特徴について、自然環境と関連づけて考える。 ・東南アジアを構成するASEAN諸国の多様性について宗教・民族・経済などの側面から考える。 ・タイの産業と開発について、地域性や歴史的背景との関わりから多面的・多角的に考える。 ・南アジアの生活・文化の特徴について、自然環境と関連づけて考える。 	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・授業導入時プリント ・授業プリント ・授業内容確認プリント

後期	8		12	・南アジアの代表的事例としてインドを取り上げ、その生活・文化の特徴と変化について考える。	○	○				
				・インドの現在の動向、抱えている課題について、多面的・多角的に考える。	○	○	○			
	9	⑥ヨーロッパの生活・文化と環境 ⑦ロシアとその周辺諸国の生活・文化と環境 ⑧北アメリカの生活・文化と環境 ⑨中部・南アメリカの生活・文化と環境	14	・西アジア・北アフリカの生活・文化の特徴について、自然環境と関連づけて考える。	○	○	○			
				・西アジア・北アフリカの宗教・言語の代表的事例として、イスラム教とアラビア語について地域性や歴史的背景との関わりから多面的・多角的に考える。	○	○				
	10		14	・アフリカ中・南部の生活・文化の特徴について、自然環境や歴史的背景、民族性と関連づけて考える。	○	○	○			
				・アフリカ中・南部の抱える課題を克服するべく、域内の統合へ向けた新たな動きについて考える。	○	○	○			
	11	⑩オセアニアの生活・文化と環境	3	前期期末考査				○	・定期考査	
				・ヨーロッパの生活・文化の形成に大きな影響をもたらした自然環境の特徴について考える。	○	○	○		・授業態度 ・授業導入時プリント ・授業プリント ・授業内容確認プリント	
	12	第3編 深刻化する地球的課題とその解決策 第2章 さまざまな地球的課題 ①世界の資源・エネルギー問題 ②世界の人口問題 ③世界の食料問題 ④世界の都市問題		3	・E U統合へ向けた動きについて、歴史的背景とのかかわりから考える。	○	○			
					・E U統合によってもたらされた産業面や生活面における変化、地域間格差の現状について考える。	○	○	○		
	12			3	・ロシアとその周辺諸国の生活・文化の多様性について、自然環境や民族性と関連づけて理解する。	○	○	○		
					・ロシアとその周辺諸国の生活や産業の特色と、その変化について考える。	○	○			
12			3	・北アメリカの生活・文化の多様性について、自然環境や歴史的背景、民族性と関連づけながら考える。	○	○	○			
				・アメリカとカナダにおける人々の社会生活の特色について考える。	○	○				
12			3	・アメリカの産業の動向について、国際社会との関わりから考える。	○	○				
				・中部・南アメリカの生活・文化の特徴について、自然環境や歴史的背景、民族性との関わりから考える。	○	○	○			
12			3	・中部アメリカ諸国の生活・文化の特徴について、産業構造面から考える。	○	○				
				・アンデス諸国の生活・文化の特徴について、自然環境との関わりから考える。	○	○	○			
12			3	後期中間考査				○	・定期考査	
				・オセアニアの生活・文化の特徴について、自然環境や歴史的背景、民族性との関わりから考える。	○	○	○		・授業態度 ・授業導入時プリント ・授業プリント ・授業内容確認プリント	
12			3	・オセアニア、特にオーストラリアの生活・文化の近年の動向について、都市人口・余暇活動の観点から考える。	○	○				
				・オセアニア、とりわけオーストラリア、ニュージーランドの産業の動向について考える。	○	○				
12			3	・オーストラリアの貿易品や輸出相手国の特性を踏まえて、同国と世界市場との関係について考える。	○	○	○			
				・エネルギー利用の歴史的変遷を踏まえ、エネルギー消費の地域差とその背景について、地球的視野から考える。	○	○	○		・授業態度 ・授業導入時プリント ・授業プリント ・授業内容確認プリント	
12			3	・西アジアの政治情勢とそれが世界のエネルギー事情に与える影響について、追究・考える。	○	○				
				・化石燃料の枯渇化や環境問題へ対処するためのエネルギー政策の取り組みについて考える。	○	○	○			
12			3	・人口分布と人口増加の現状について、地球的視野から考察する。	○	○	○			
				・発展途上国が抱える人口爆発の問題、先進国が	○	○				

1	⑤世界の環境問題	7	抱える少子高齢化の問題、それぞれの解決策について追究・考える。 ・食料の供給・生産・流通における地域差を地球的視野から考察する。 ・先進国における飽食の問題と発展途上国における飢餓の問題について追究・考える。 ・都市化の過程、都市問題発生背景・要因、都市政策のあり方について地球的視野から考える。 ・発展途上国と先進国それぞれの都市問題の現状と解決策について追究・考える。 ・人間社会と自然環境とのかかわりや生態系破壊のメカニズムについて理解する。 ・地球温暖化を事例に、環境問題発生メカニズムとその影響について考える。 ・地球的課題をめぐる大小様々なレベルでの国際協力の現状と課題について考える。 ・日本の国際協力への取り組みの現状と課題について理解する。	○	○	○		
	第4編 身近な地域と地理的課題 第2章 自然環境と防災 ①日本列島の自然環境と自然災害 ②日本列島の自然災害と防災		3	・地形と気候の両面から日本列島の自然環境の特性を理解する。 ・日本列島の自然環境の特性を自然災害発生との関わりから考える。 ・日本列島で発生する自然災害（地震・津波・火山の噴火・台風・雪害・洪水・都市災害）の発生メカニズムやもたらされる被害について考える。 ・災害克服へ向けた各地域における様々な取り組みについて考える。	○	○	○	・授業態度 ・授業導入時プリント ・授業プリント ・授業内容確認プリント
	学年末考査						・定期考査	
3	次年度に向けて	3	・次年度に向けた学習	○	○	○	・授業態度 ・授業導入時プリント ・授業プリント ・授業内容確認プリント	

3 評価等について

項目	①関心・意欲・態度	②思考・判断・表現	④資料の活用技能	④知識・理解
内容	各地域の自然環境の特色に対する関心を高め、意欲的に追求している。	生活圏の諸課題について、地域性や歴史的背景を踏まえて、多面的・多角的に考えている。	地理に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、学習に役立つ情報を活用し、学び方の技能を身につけ、考えた過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	世界諸地域の生活・文化及び地球的課題について歴史的背景と関連づけて考え、地理的認識を深めている。
割合	20%(点)	10%(点)	10%(点)	60%(点)

4 履修にあたっての注意事項

- (1) 定期考査
- (2) 提出物への取り組み状況、完成度
- (3) 授業の取り組み（授業態度、学習活動への参加状況、服装など）
などから総合的に評価する。
また、毎時間の授業を大切に、意欲的に取り組むこと。
これらの事項を守れない場合には、未履修となることがある
ので注意すること。

評価について

評価	評価点
10	100 ~ 93
9	92 ~ 85
8	84 ~ 77
7	76 ~ 70
6	69 ~ 61
5	60 ~ 53
4	52 ~ 45
3	44 ~ 38
2	37 ~ 30
1	29 ~ 0

学年末評定について

評価	評価点
5	100 ~ 85
4	84 ~ 70
3	69 ~ 45
2	44 ~ 30
1	29 ~ 0